

知井振興会だより

第177号
発行：知井振興会
☎0771-77-0001

第41回清流美山の鮎まつり 開催

今年も猛暑が続いた中、8月9日(日)に第41回清流美山の鮎まつりが開催されました。当日は晴天に恵まれ、美山町内外から大勢の方が来られました。

鮎のつかみ取りは、今回から河内谷のアマゴ釣り堀池に移り、計4回実施されました。各回とも子供たちを含む定員80名の参加があり、大人も子供も夢中になって元気な鮎を追いかけて楽しんでおられました。

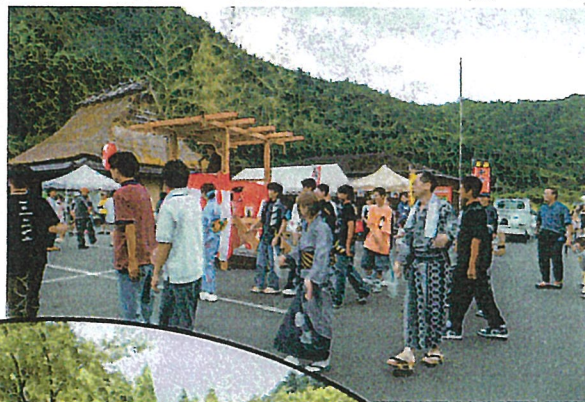
メイン会場では、ビンゴゲームや今様音楽企画による素晴らしい演奏や体験コーナー、屋台村などがありそれぞれに楽しめました。夕方からは知井の音頭取りの方にお世話になつての盆踊り大会や福引抽選会も行われ大いに盛りあがりました。

当日お世話になりました関係者の皆様、役員の皆様、ボランティアの学生の皆様、暑い中大変お世話になりました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

第41回清流美山の鮎まつり実行委員会



テナント 出店



福引



鮎の塩焼き



ビンゴゲーム

生涯学習勉強会 6月30日(火)

食と健康についての学習会

「食の工夫が健康寿命を変える。」

伝統食、地域食材と発酵から学ぶ」

(主催) 知井振興会生涯学習社会教育部

食と健康については、様々な情報から関心を持たれ自身の食生活に取り入れようとされている方が多いと思います。

今回は、近年注目を集めている発酵をテーマに学習会を振興会共同調理室で開催し、発表者と参加者を合わせて10名の参加がありました。

最初は、ナビゲーターの松永美香さんより地域食材と発酵をキーワードに、講習及び調理発表が行なわれました。続いて、発表者の皆さんから調理の紹介があり、その後グループに分かれて調理実習を行いました。

最後に、出来上がった料理や持ち込みの料理を食べながら参加者全員で、食へのこだわりと健康法などをお互いに紹介しました。



・・・学習会に参加された方々の感想・・・

〈Yさん〉 想像以上に楽しくて勉強にもなり、良い企画でした♪また、このような機会があれば参加したいし、お役に立てればと思います♥私の妄想は、大好きな山菜や伝統食や郷土料理のハードルを下げて、若い人達に食べてもらって美味しさを分かってもらい、調理を覚えてもらえたらいいと思います。

〈Mさん〉 やっぱ美味しいものを皆で作って食べるっていいなって思いました!知井も美山も子どもが激減しているし、なかなか盛り上げるのも難しいなと思います、何かの形で主催者側も参加する側も楽しみながら続けることが出来たら素敵かなーと思います(笑)

(一部抜粋)

鮎の友釣り教室・釣り大会開催

7月5日(日)の午前に知井の釣りクラブ(M・F・T)、漁協知井支部と振興会共催の鮎の友釣り教室を開催しました。知井地区での友釣り教室を開催するのは初めてでしたが、美山町内外から16名の参加者がありました。初めて友釣りをする方が多かったですが、手取り足取りの親切丁寧な指導のおかげで、あちこちから「釣れたっ」と歓声が上がっていました。これを機に友釣りの楽しさを知り、美山川へ来ていただければ嬉しく思います。

お忙しい中、指導いただきました講師の皆さん大変お世話になりました。なり有難うございました。



午後1時からは、漁協知井支部と振興会共催の鮎の友釣り大会を、江和黒田橋で開催しました。

雨模様の中でしたが、21名もの参加があり、日頃あまり会う機会がない人達と釣り談議を交えて和気あいあいと楽しめました。順位結果は次の通りです。

- 1位 井爪貴之 (11匹)
- 2位 廣庭晃大 (11匹)
- 3位 大野遥平 (9匹)

(敬称略)



夏のワークキャンプの取り組み

8月26日(水)より六日間の夏のワークキャンプが開催されました。ワークキャンプは18年前より開催されており、京都ボランティア実践研究会（代表・名賀亨氏）による支援集落への作業サポートの取り組みを年2回行っています。

午後1時より、振興会の多目的ホールで開校式が行われ、関西圏の大学生をはじめ、社会人の方を含めて総勢20名の参加がありました。

開校式の後、南

丹みやま診療所の西岡先生による、ワークキャンプ中の安全対策講習が行われました。熱中症や食中毒、蜂などに刺された時の対処法などを学び、気を引き締めてワークキャンプに臨みました。



二日目より作業の開始です。知見区の溝掃除を行い、三日目は江和区、四日目は河内谷区で作業を行いました。連日、蒸し暑い中でしたが、「ファイト・ファイト」と声を掛け合いながら献身的に作業を行っていました。作業最終日は知井振興会の環境整備を手伝い、最終日は旧小学校の掃除を行い六日間の日程を終了しました。

全行程六日間に及ぶワークキャンプ中、熱中症や体調を崩す参加者もなく無事に終えることが出来ました。関係いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

高齢化が進む知井地区にとっては、心強いサポートとなったと思います。次回、冬のワークキャンプは二月の開催となります。



振興会 環境整備

振興会周辺の環境整備が8月30日(日)に各種団体・各区長・ワークキャンプ・振興会役員が結集して実施されました。

当日も猛暑の中でしたが、早朝より2時間の作業を行いました。ランドゴルフ協会・老人クラブ・ワークキャンプの皆さんはランドの草引きや草刈り、区長・知井財産区・ふれあいホーム・役員の皆さんは振興会周辺の草刈りをお世話になりました。ご協力いただき大変ありがとうございました。



第4回 知井ふれあい夏まつり

9月5日(土) 振興会において、社会福祉法人・北桑会知井ふれあいホーム「ひだまり」と 知井振興会共催で「知井ふれあい夏まつり」を開催しました。これまでの「子供夏まつり」と「夕涼み会」を合体する形で今年度で4回目となります。

午後3時より、ヨーヨー釣りなどの遊びコーナーや焼きそばなどの夜店があり、またメインステージでは、今様音楽企画の演奏やカナリヤ倶楽部の合唱など盛りだくさんの催しがありました。

お年寄りから子供まで楽しめる内容で、最後には福引抽選会があり、楽しいひと時を過ごされました。

定住促進企画 ちいたび開催

CHIITABI



定住促進に向けて美山DMOとの共同企画で取り組んでいる、ちいたび（持続可能なローカルな暮らしに触れる旅）を7月26日（日）に旧知井小学校で開催しました。今回は美山まちづくり委員会「田舎暮らし美山相談会」との共催で行われ、田舎暮らしに関心のある5組（8名）の参加がありました。

午前中は会場で、美山の魅力や実際の移住者の方の暮らしぶりなどが紹介されました。また、田舎暮らしの不安やわからないことにお応えする個別相談も行われました。

午後からは実際にお貸しできる古民家を見学してもらい、具体的に移住した時のイメージを持って貰えたかと思えます。

今後もちいたび企画では、田舎へ移住を考えている方に向けて情報発信や移住のきっかけ作りの取り組みを行います。



《振興会 今後の予定》

(10月)

24日 高齢者宅 見守り活動
25日 廃品回収

(11月)

1日 第35回知井地区文化祭

連載12・美山町地域包括ケアシステム



西岡 大輔

【プロフィール】

39歳、2児の父。2012年に神戸大学を卒業。1つ目の専門は総合診療(家庭医療専門医) 2021年に東京大学で博士(医学)を取得。2つ目の専門は、地域全体(保健、医療、介護、福祉、住民のみなさん)が協力して病気を予防する町づくり「地域包括ケア」。ポケモン好き。

※地域包括ケアとはどのようなものか？
南丹みやま診療所の西岡大輔医師からのお話を連載で紹介します。

●健康に住み続けられるまち、美山を目指して

「健幸の森づくりワークショップ」が広がっています！先日、美山中学校2年生を対象に「いのちの課外授業」を実施しました。いざという時の救命講習、中学校生徒からの質問タイム、そして「健幸の森づくりワークショップ」の3本立てでした。中学生にも自分にとつての健康・健幸の秘訣（＝健康因）を書き出して「健康（健幸）の木」を2本作ってもらいました。中学生から集めた健康・健幸の秘訣は、一味違っています。「ねる」「推し活」「スポーツ」「音楽」「ゲーム」などを挙げる生徒がいたり、「食・眠・動」のように自分で言葉を作り上げる生徒もいました。生徒のみなさんもそれぞれの個性を出して、とても楽しく実施してくれました。2本の木はしばらく美山中学校に掲示してもらいましたので、写真を見たい方はぜひ診療所までお越しください！年代によって病気のリスクが違いうように、健康（健幸）のクスリも違うことがわかります。健康（健幸）のあり方は人それぞれであり、それを実現できる地域づくりが重要であることにみんなで気づくことができました。今後もいろんな場所で健幸の木、健幸の森が作られることを楽しみにしています！健幸の森づくり組合、ガーデナーを募集しています！